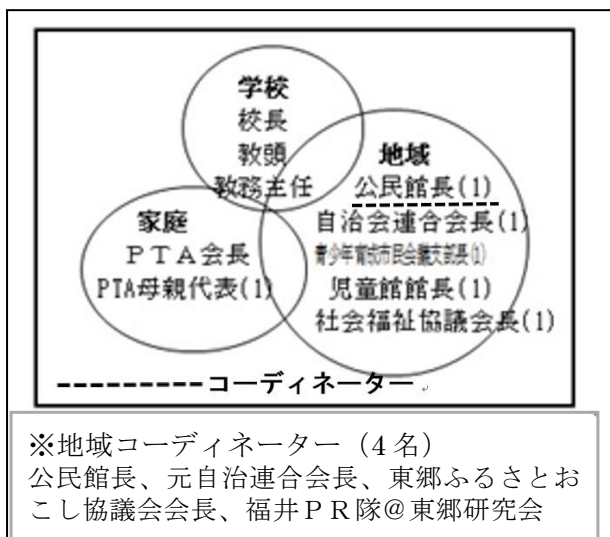


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

※開催回数 3回

※開催日程 5月、11月、2月

※協議内容

・協議会の組織と運営

- ・スクールプラン（学校経営方針等）
- ・授業参観、教育ウィーク参観
- ・中学校区教育
- ・家庭・地域との連携
- ・学校評価と改善

○その他

足羽第一中学校区地域・学校協議会を開催

(3) 協議会における成果と課題

スクールプランについての理解と1年間取り組んだ教育活動の学校評価の結果を受けてのご指導をいただいた。その中で、教育の取組を正しく理解してもらったり、新たな視点でのご指摘をいただいたりした。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・地域の魅力を、体験活動を通して再確認するとともに、地域の人たちとつながる中で地域の課題を発見し、「ふるさと東郷」の活性化の一翼を担う自覚と愛着・誇りを育む。
- ・ふるさとの宝やよさを再確認するとともに、県内に広く発信し主体的に行動する力を育てる。

(2) 活動の実際

①せせらぎコンサート参加(6年生)

本地区の初夏の風物詩「せせらぎコンサート」に参加した。今年度も合唱披露だけでなく、地域コーディネーターに依頼し、曲の紹介や進行、会場内でお客さんへ感想のインタビューなど司会を務められるようにした。また、地区のイメージソングである「堂田川」の作詞作曲家歌手・ナナイロとコラボレーションをしたことで、コンサートが盛り上がった。



③企業訪問でふるさとの宝、再発見(5年生)

5年生の総合学習の一環として、自分たちの住む地域の企業訪問をし、調べて分かったことやよさを広く発信し、東郷のPRを行った。訪問前に、より興味をもった企業について子

(様式3)

どもたちが選び、その後訪問見学し、学習したことを子どもたちが写真やビデオを使って新聞にまとめた。このことを4年生に発表したり、作成したパンフレットを公民館に設置してもらったりして、東郷地区の宣伝を行った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・せせらぎコンサートでの6年生の参加の関わり方(連音曲の合唱披露、司会進行歌手ナナイロとのコラボレーション)における実行委員会との連絡・調整
- ・おつくね祭への5・6年生の関わり方(ダンス、神輿担ぎの演出)において実行委員会との連絡・調整

(4) 特に工夫した事項

従来「せせらぎコンサート」や「おつくね祭」には、お客さんの感覚で参加して楽しむことが多いものだった。一昨年よりこのコンサートや祭を、児童が少しでも積極的に参加し、地区の一員として活躍できるよう地域にお願いし、ポスター作りに協力したり、子供の出番を増やしてもらったりした。

児童の活動内容については、従来教育課程として実施していた教育活動に、あまり負担にならないよう参加の形態を工夫した。児童の学校としての参加ということで、この行事がより活性化し、魅力あるものになった。

(5) 成果と課題

県の事業の最終年度の本年も、地区と関わる教育活動を継続して行った。従来行われてきた教育活動の参加形態に多少の工夫を取り入れることで、子どもたちにその活動のもつ意義が理解され、周りの参加者や見物の方から賞賛をあげたり、拍手を得られたり喜んでもらえたり等、反響を体感することで、児童自身の達成感・充実感を味わい、地区への愛着がわく活動になった。

しかし、教育活動として児童の主体的活動をねらっているものの、児童にゆだねる時間的余裕がなく、多くの部分において、教師が先導して指導することが多くみられた。また、地区行事への参加形態は、土曜や夏休みと休業日の参加となり、教育課程外になるので全員参加は難しい。子供自らが計画運営し参加していくという形態になるまでには、いくつかの課題が残されている。